

「令和7年度第2回訓練実施施設による意見交換会」を開催しました！

訓練実施施設の方々から「他の施設ではどのように訓練をされているのか知りたい」、「他の施設の方とも話をしたい」等のご要望にお応えするため、今年度から意見交換会を開催しており、今回は第2回目を迎えました。今回は「就職支援等の取組状況」をテーマとし、各施設の代表者、就職支援責任者の方々に参加いただき、兵庫労働局訓練課職員、ハローワークの指導官等の方々も口の字座席に入っていたいただき、本格的な意見交換をサポートしてもらいました。

- ・開催日時：令和8年1月29日 13：30～16：30
- ・会場：神戸市立中央区文化センター
- ・出席者：訓練実施施設7施設7名
兵庫労働局2名、ハローワーク4所4名 及び当支部職員

1 開催の様子

まずはスクール形式配列で兵庫支部から意見交換に関連する就職支援に係る留意点等の説明を行い、兵庫労働局からは今年度の公的職業訓練の効果検証結果等の報告をしてもらいました。



兵庫支部説明



兵庫労働局説明

その後、配列を口の字形式に変更し、意見交換を始めました。支部、各施設参加者で口の字の中に着席いただき、本格的な意見交換を始めました。



口の字に座席変更



関係者も輪の中に

今回は2回目の開催で就職支援とテーマを絞っての実施ということもあり、各施設からも積極的発言を頂戴いただきました。内容に応じて、労働局、ハローワーク職員からもコメントをもらいました。

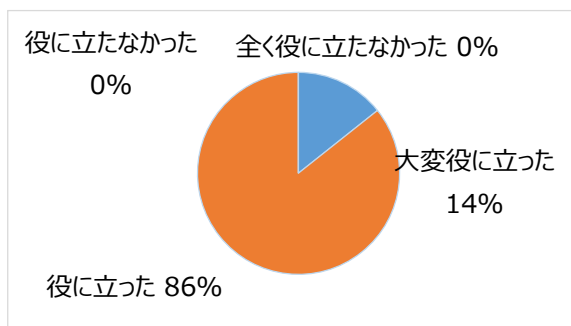
1 意見交換内容

設問は予告周知して準備いただき、その他追加質問も含めて行いました。質疑応答の一部は次のとおりです（あくまで参考例です）。

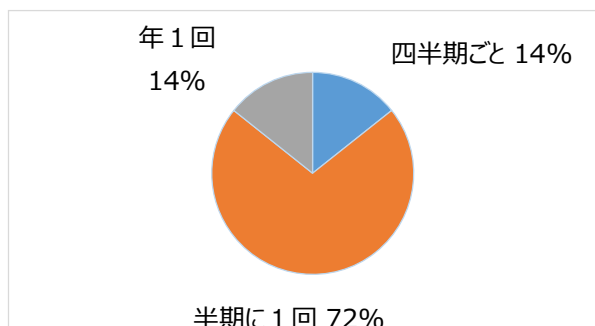
- (1) 職業スキルの指導を並行して就職支援を行うことについて、受講者にどのような周知をしていますか？
- ・スキルを学ぶだけの場所でないことを、説明会や入校式の段階で周知している
 - ・就職が目的であることを強く意識させている。
 - ・終了3か月後に就職すれば良いと誤解している方がおり、在校中の計画的な支援を意識している。
- （関係者補足）ハローワークにおいても、実施施設とハローワークが連携して就職支援を行うことを周知している。
- (2) 訓練後半あたりから受講者が就職活動ができる工程になっていますか？
- ・就職する職業をきちんと理解してもらい、動けるようにしている。
 - ・訓練終了後、直ちに就職をイメージし、その工程を理解してもらっている。
- （関係者補足）受講者に「職業情報提供サイト（job tag）」で就職を目指す職業を良く理解してもらうことも効果的です。是非活用してほしい。
なお、習得度合いから後半段階では、まだ就活できない受講者もいると思うので進捗に応じて工夫してほしい。
- (3) どのような戦略を立て、就職状況報告書の提出をしてもらっていますか？
- ・入校段階から、その必要性を理解いただき、国のお金で受講している以上、報告もきちんとする必要がある点をきちんと説明している。
 - ・どうしても理解できない場合は、来校してもらい、サポートしている。
- （関係者補足）受講者への報告書記入にも関連する労働法の理解促進に「これってあり？まんがで役立つ労働法Q & A」の活用も推奨する。
なお、実施施設とハローワークの連携に関し、正直、手探りの面はある。
このような声を参考に、受講者へのより良い就職支援を進めていきたい。

2 参加者アンケート結果

Q1 今回の感想



Q2 今後の開催サイクル



Q3 ご意見

- ・各施設が抱えておられる共通認識が具体的に分かった。
- ・他施設の取組を知ることができ、参考になりました。
- ・実施施設だけの情報交換の時間も増やせば、参加者は増えると思う。

3 今後に向けて

今回の企画に関しては引き続き高評価を頂戴し、ありがとうございました。口の字配列に距離感があり、できるだけ接近させて意見交換しやすい環境にするよう工夫します。

今後は、ご意見にもあった実施施設担当者同士のグループワークのような方法等も検討します。その際は、是非参加をお願いします。